

第42回  
ヒホン国際映画祭  
ユース審査員最優秀尺幅映画賞

川を、時を、さかのぼっていく――

ヒメシヤラ映劇 Vol.13 “金子雅和監督特集” himeshalra eigeki

# 光る川

*River Returns*

飛騨古川まつり会館

# 7.19 日

18:30~20:20

華村あすか 葵湯

有山実徳 / 足立智充 山田キヌタ 高橋雄祐 松岡謙平  
堀尾圭亮 根岸季女 渡辺寛  
安田 颯

脚本・監督:金子雅和

音楽:高木王勝 共同脚本:吉村元希 美術監督:高谷京子  
撮影:山田謙生 音響:實 光真 OPアニメーション:高橋雄祐  
原作:松田勉八(長良川 スタンドバイミー―九五〇より)

エグゼクティブ・プロデューサー:中谷克彦 渡井美子  
製作:長良川スタンドバイミーの会 制作プロダクション:プロジェクト・ドーン

©長良川スタンドバイミーの会

助成: 大分県文化庁文化芸術振興費補助金(映画芸術部活用事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



高度経済成長期。山あいで生きる少年は、大人が忘れはじめた神秘と畏怖にふれる。

飛騨の自然や暮らしを  
見つめ直す一日

7.19 (日)

飛騨古川まつり会館  
18:30~20:20

日本の高度経済成長が始まった1958年、  
大きな川の上流、山間の集落で暮らす少年ユウチヤ。  
森林伐採の影響もあるのか、家族は年々深刻化していく。台  
風による洪水の被害に脅かされている。  
夏休みの終わり、集落に紙芝居屋がやってきた。演目は土  
地にすつと伝わる里の娘・お葉と山の民である木地屋の青  
年・朔の悲恋。お葉の涙が溢れかえるように数十年に一度、  
恐ろしい洪水が起きるといふ。  
紙芝居の物語との不思議なシンクロを体験したユウチヤ  
は、現実でも家族を脅かす洪水を防ぎ、さらには良しなに  
囚われたままのお葉の魂を解放したいと願い、古くからの  
言い伝えに従って川をさかのぼり、山奥の淵へ向かう……

世界の映画祭で注目の異才・金子雅和監督最新作  
CG一切なしの神秘的な自然の中で紡がれる伝承と解放の物語

## ○入場料

大人 2,000円  
高校生以下 500円

## ○お申込みはこちら

QRコードからお申し込みください



【お問合せ】 ヒメシャラ映劇  
himeshalaneko@gmail.com

会場 飛騨古川まつり会館

4Kシアターで上映します

飛騨古川まつり会館

岐阜県・長良川流域を舞台に描く  
少年と自然、人と命のつながり。  
オール岐阜県ロケの  
美しい映像も見どころ。

## トークショー開催

金子 雅和 (監督)

×

松岡 龍平 (俳優)

撮影秘話や作品への思いを直接聞ける  
貴重な機会です。



主催 ヒメシャラ映劇  
共催 飛騨市観光協会